

下田総合庁舎 定例記者懇談会資料

令和 7 年 8 月 22 日

賀茂地域局

次回の定例記者懇談会
令和 7 年 9 月 25 日（木）
午前 9 時 30 分から
会場：賀茂キャンパス

目 次

◎重要施策発表

賀茂方面本部の体制と本部運営訓練の実施について・・・・・・・・・・	1
	(賀茂地域局)

◎令和7年9月の行事予定

行事予定表・・・・・・・・・・	13
-----------------	----

賀茂キャンパスを活用したプログラム

～静岡大学東部サテライト公開講座オンライン視聴会～・・・・・・・・	15
	(賀茂地域局)

賀茂キャンパスを活用したプログラム

～「静岡県立大学 社会人講座」第42回講座～・・・・・・・・・・	17
	(賀茂地域局)

令和7年度 地域おこし協力隊交流会の開催について・・・・・・・・	19
	(賀茂地域局)

9月の防災講座・・・・・・・・・・	20
	(賀茂地域局)

「災害時の栄養・備蓄」の大切さについて学ぶ研修会を開催します！・・	22
	(賀茂健康福祉センター)

下田総合庁舎での福産品販売会（令和7年度第2回）の開催・・・・・・・・	23
	(賀茂健康福祉センター)

たばこの害について考え、こどもから大人にメッセージを伝えます！・・	24
	(賀茂健康福祉センター)

令和7年度 第3回フィールドワークを通した理科探究活動・・・・・・・・	26
	(静岡県立下田高等学校)

静岡県屋外広告物適正化旬間におけるパトロールの実施・・・・・・・・	27
	(下田土木事務所)

小学生に土木の仕事を紹介！・・・・・・・・・・	34
	(下田土木事務所)

あおのだいし 「青野大師ダム教室」の開催について・・・・・・・・・・	35
	(下田土木事務所)

消費者教育出前講座の実施・・・・・・・・・・	45
	(賀茂広域消費生活センター)

賀茂地区幼保小接続推進研修会・・・・・・・・・・	46
	(賀茂地域教育振興センター)

定例記者懇談会構成員名簿

	役職名	氏 名
1	賀茂地域局長	あおき 青木 かつひろ 克裕
2	賀茂地域局副局長兼賀茂危機管理監	まつおか 松岡 ひろのり 宏典
3	伊豆観光局長	さきの つとむ 笹野 努 (欠席)
4	下田財務事務所長	たけだ としき 竹田 敏己
5	賀茂健康福祉センター所長	わたなべ しん 渡辺 心
6	賀茂健康福祉センター医監兼賀茂保健所長	ほんま よしゆき 本間 善之
7	賀茂農林事務所長	じょうけ まこと 上家 信
8	農林技術研究所伊豆農業研究センター長	ば ふ じ お 馬場 富二夫
9	水産・海洋技術研究所伊豆分場長	わしやま ひろふみ 鷺山 裕史
10	下田土木事務所長	すがぬま ただつぐ 菅沼 忠嗣
11	賀茂広域消費生活センター所長	まつひさ まゆみ 松久 真弓
12	賀茂出納室長	まつなが としの 松永 俊乃
13	賀茂地域教育振興センター参事	み むろ な おこ 三室 直子 (欠席)
14	賀茂地域局次長兼地域課長	いいだ まさゆき 飯田 雅之
15	賀茂地域局参事兼危機管理課長	はかまだ こうじ 袴田 晃司

賀茂地域定例記者懇談会 座席表
(下田総合庁舎別館 2階 賀茂キャンパス)

柱

スクリーン

副局長兼
賀茂危機
管理監

○

PC

専門官兼
賀茂広域消費生活
センター長

○

下田土木事務所長

○

賀茂出納室長

○

水産・海洋技術研究所
伊豆分場長

○

伊豆農業研究センター長

○

プロ
ジェクター

賀茂健康福祉
センター長

○

賀茂保健所長

○

賀茂農林事務所長

○

下田財務事務所長

○

賀茂地域局長

○

地域次長兼
課長

○

危機参事兼
管理課長

○

出入口

記者席

賀茂方面本部の体制と 本部運営訓練の実施について

賀茂地域局危機管理課

1

賀茂地域局副局長兼賀茂危機管理監の松岡です。

先月の記者懇談会において、賀茂地域局危機管理課から、
来週27日(水)に実施する「総合防災訓練(本部運営訓練)の実施について」
資料提供しております。

この訓練実施に先立ち、

①賀茂危機管理庁舎でこの訓練を実施する「賀茂方面本部」の体制

②今回の訓練内容

について説明します。

静岡県の防災体制

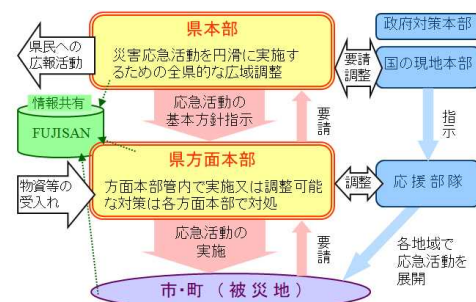
県では、大規模地震等の災害発生時における情報の収集、市町支援等、県として地域における災害応急対策を充実・強化するため、地域局(計4か所)を置き、地域局は災害時に方面本部の中核としての機能を担う。

県本部は、国等との広域的な連携機能や全県的な広域調整機能を担う。

●防災管内図



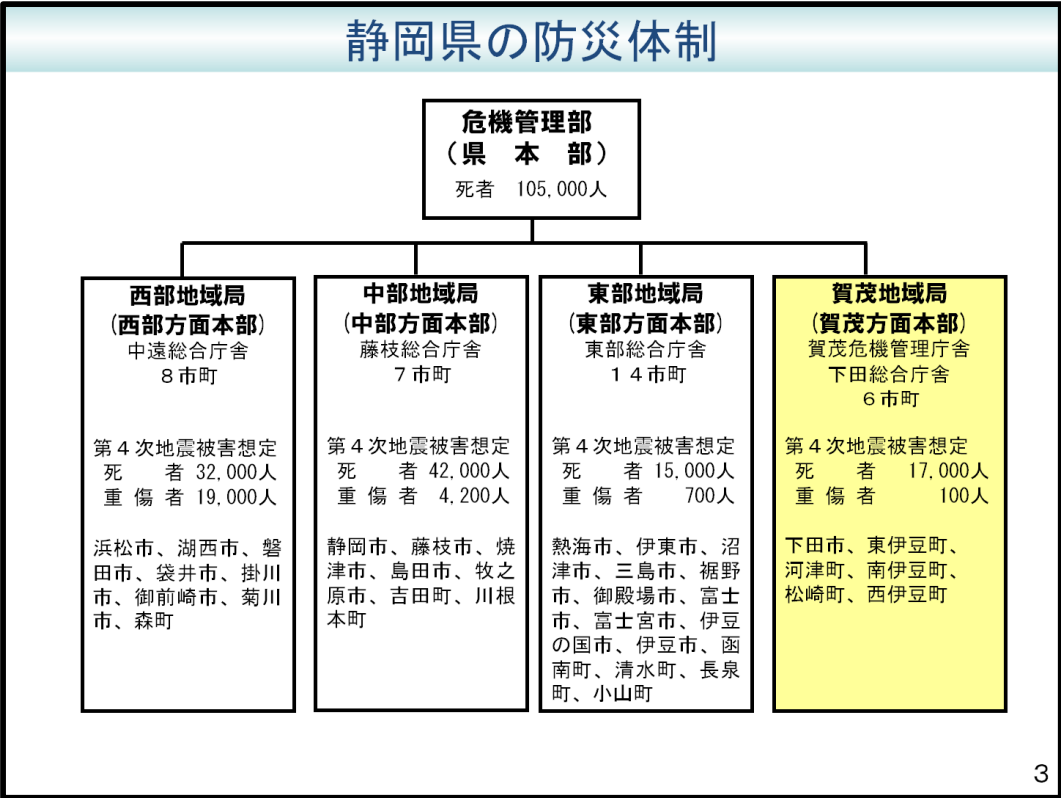
●防災体制の概要



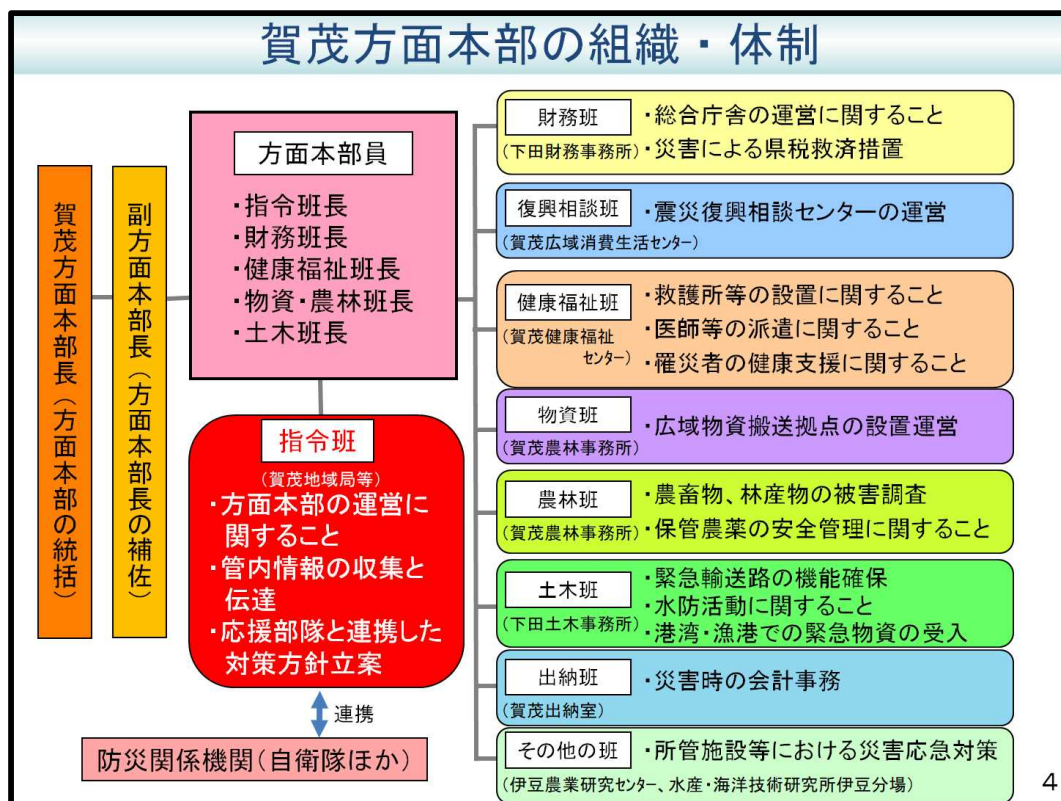
2

まずはじめに、静岡県の組織・体制ですが、
県内を4つの地域に分け、各地域に「地域局」を設置し、
平時には「危機管理課」、「地域課」2つの課がそれぞれ「防災」、「地域振興」
を担っています。

また、災害時には、これら4つの地域に、災害対策本部としての「方面本部」
を設置し、「方面本部」は各地域の応急対策活動を担うことになります。



4つの「方面本部」の組織の概要です。
賀茂方面本部は賀茂管内1市5町を担います。



こちらは賀茂方面本部の組織体制を示したものです。

平時における「各事務所」等が、災害時には「各班」となり、各班の業務に属する災害対応を実施していくことになります。

この中で、「指令班」は、賀茂地域局の職員と、平時には各事務所に所属していながら、災害時には指令班に属して活動する職員により構成されています。

「指令班」の役割は、災害時には賀茂危機管理庁舎の3階方面本部室にて、方面本部全体の運営を統括するとともに、もう1つ重要な役割は、自衛隊、消防、警察等の防災関係機関と連携しながら、救助・救急、消火等の応急対策活動について、地域内調整や対策方針立案等を行います。

今回の訓練においても、この「指令班」が防災関係機関と連携して行う応急対策活動の調整・対策方針立案がメインの内容となります。

災害応急対策の実施(各機関の役割)

- ◎災害発生時には、人命の救助・救急、医療、消火等の応急対策活動を迅速かつ的確に講ずることが求められる。
- ◎災害応急対策は、一次的には基礎自治体である市町村において災害対策本部を設置して対応することとなる。
- ◎災害の状況に応じ、国、県、市町村、関係機関等が相互に緊密な連携のもとに協力して実施する。

5

ここで、「災害応急対策」について説明します。

「災害応急対策」とは、

発災後の国、県、市町と、自衛隊、消防、警察などの防災関係機関の対策ということになりますが、

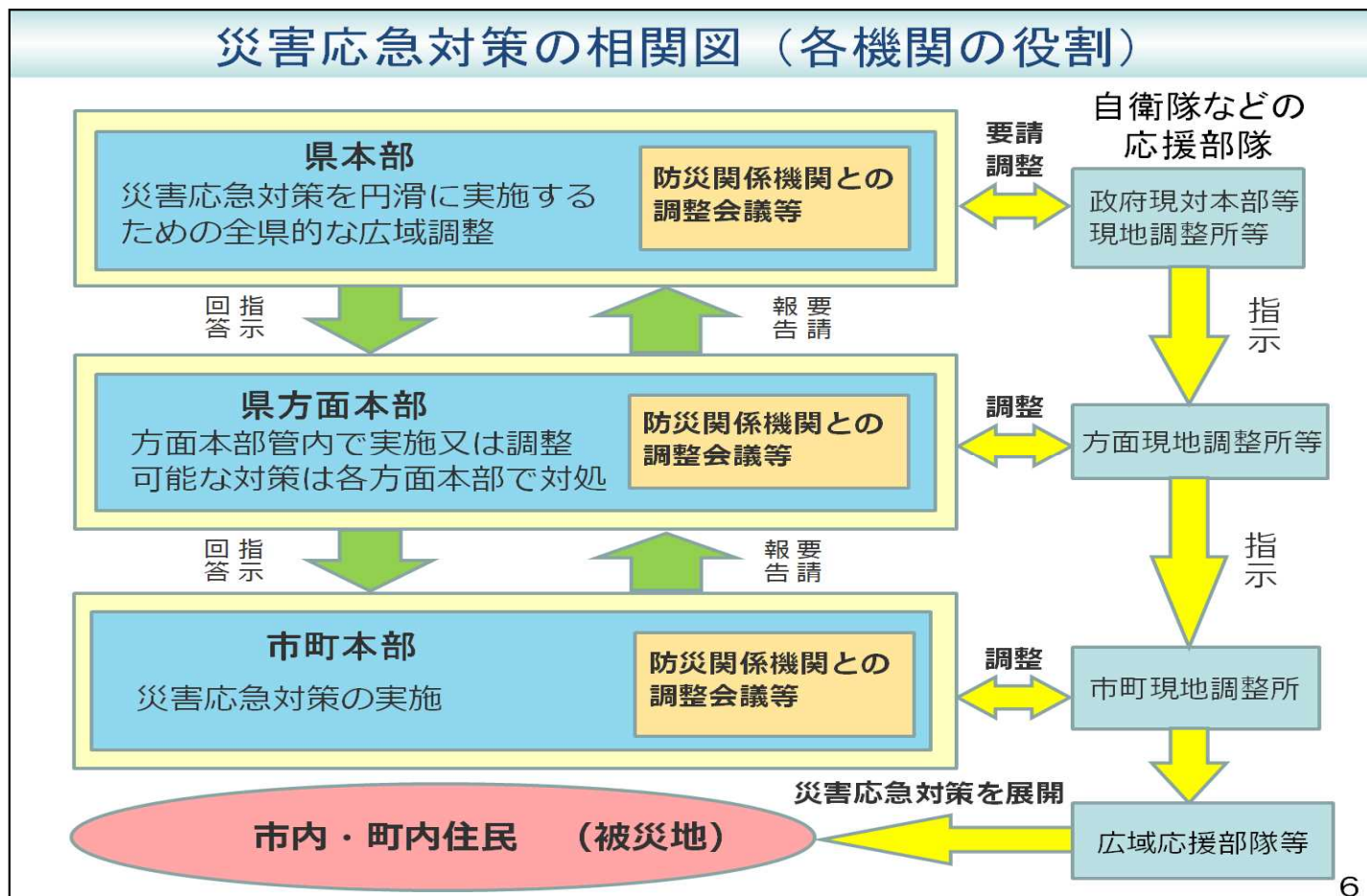
内閣府のサイトでは、このように概要を説明しています。

①災害応急対策は、まずは「市町」が実施する。

②「災害の状況に応じ」とは、「市町」だけでは対応しきれないときに、県や自衛隊を始めとする防災関係機関が連携して「市町」の災害対応を支援する。

ということになります。

災害応急対策の相関図（各機関の役割）



6

こちらは災害応急対策を行う場合の県、市町の役割の相関図を示したものです。

図中の一番下、被災現場に直接向き合う、被災住民と直接接するのは、市町であり、「市町本部」になります。

県は、市町の支援にあたりますが、静岡県の場合は、「県本部」と「市町本部」との間に「方面本部」を設置し、「方面本部」は、「県本部」と「市町本部」との間の情報伝達や、地域内における災害応急対策の調整・方針立案を行います。

なお、救助・救急、消火等の応急対策活動の調整・方針立案にあたっては、先ほど、「賀茂危機管理庁舎の3階方面本部室にて、自衛隊、消防、警察等の防災関係機関と連携して行う」と説明しましたが、具体的には、方面本部には自衛隊などの防災関係機関（応援部隊）のリエゾン（連絡員）が派遣されることになっており、これらリエゾンを通して、防災関係機関の指揮所・指揮官と連携・調整をしていくことになります。

静岡県総合防災訓練（本部運営訓練）の概要

日 時：令和7年8月27日（水）8時30分から12時

場 所：静岡県賀茂危機管理庁舎 3階方面本部室

参 加 者：静岡県、賀茂地域1市5町、陸上自衛隊、
下田海上保安部、下田警察署、下田消防本部、
沼津河川国道事務所、東京電力パワーグリッド

訓練想定：・前日8月26日8時30分に南海トラフ沿いで
巨大地震発生
・激しい揺れのほか、大津波が襲来し、県内全体
で著しい被害発生
・地震発生から24時間経過した状況で訓練開始

7

ここまで「賀茂方面本部」の体制、及び災害応急対策の概要について説明しましたが、これらを踏まえた、今回の訓練内容について説明します。

まずは訓練の概要です。

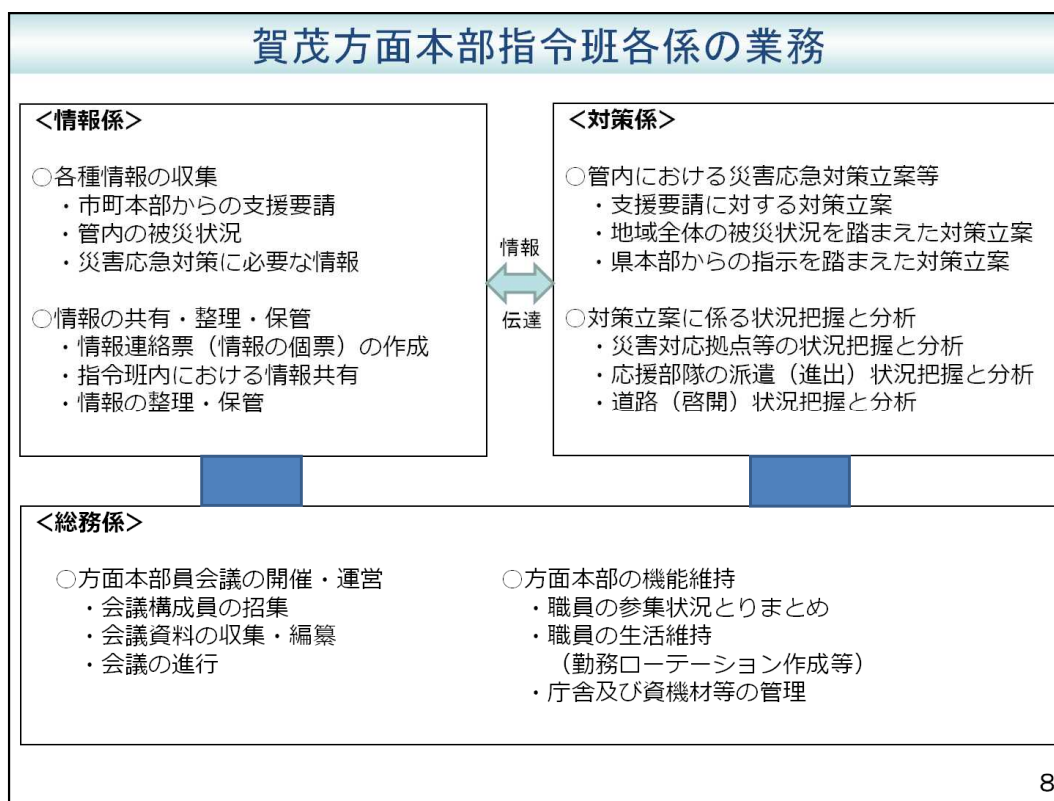
日時は来週27日（水）の午前、場所は賀茂危機管理庁舎3階方面本部室となります。

管内市町の職員、及び賀茂方面本部の指令班以外の職員はこの会場にはおりませんが、ホットラインや防災行政無線、テレビ会議や防災情報システムを使用した情報伝達を行うことにより、訓練に参加します。

賀茂危機管理庁舎3階方面本部室には、方面本部長や指令班員のほか、陸上自衛隊を始めとする防災関係機関が参加し、

主に賀茂管内市町本部から上がってくる被災情報や支援要請に対して、地域内調整や対策立案を行っていくことになります。

なお、南海トラフ巨大地震が発生したという想定で、24時間が経過した時点から訓練が始まります。



8

賀茂危機管理庁舎3階方面本部室で活動する指令班には、
情報係、対策係、総務係があります。

今回の訓練における各係の業務はここに示すとおりであり、
情報係は、管内市町の被災状況、支援要請等の情報収集や情報共有
対策係は、情報係からの情報を把握・分析の上、災害応急対策の立案を行
います。

そして、これらの活動についての検証を行います。

また、総務係は、方面本部員会議の運営を始め、
情報係や対策係、さらには方面本部各班の活動を支える裏方の活動を担うこ
とになります。

指令班情報系の活動内容

情報の受付～処理の流れ

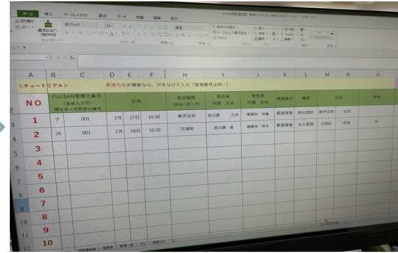
管内市町からの情報聞き取り



聞き取り内容を
PCへ入力



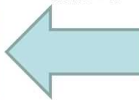
PC入力状況



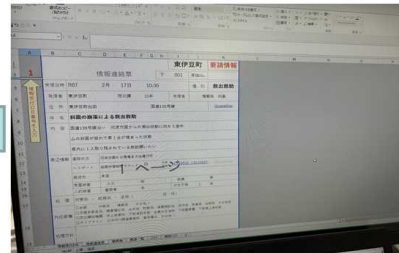
情報連絡票への
自動変換



方面本部室内
での情報共有



ホワイトボードへの情報の書き出し



情報連絡票の印刷 → 対策係への伝達

9

これは情報系の活動の流れとなります。

情報係は、管内市町の被災状況、支援要請等の情報収集や情報共有を行います。

具体的な例をあげますと、「大規模な土砂崩れが発生し多くの人々が埋まっている」、「地元の消防署や消防団だけでは救出できない」といった案件について、市町本部から賀茂方面本部に対して支援要請がなされます。

情報係は、応急対策を実施する対策係に対して、これらの情報を伝達する必要がありますが、この情報伝達が「迅速かつ的確」に行われるよう、

記録の様式、情報収集を行う手順、情報の整理や保管方法など、

訓練を繰り返しながら改善を図っています。

指令班対策係の活動内容

AIを駆使した被災現場写真(訓練用)の作成



電子地図を活用した対策会議



10

これは対策係の活動の様子となります。

対策係は、情報係が収集した情報を受け、自衛隊を始めとする防災関係機関と協議を行い、災害応急対策の調整・方針立案を行います。

先程の例で言うと、「大規模な土砂崩れによる支援要請」について、地域内にいる各応援部隊の活動調整を行います。

一方で、大規模災害時には被災現場からの情報があがってこない可能性も十分あり得るため、市町からの情報を待つだけでなく、様々な方法により、賀茂地域全体の情報を収集する必要があります。

上の写真は訓練用に作成した被災現場の写真です。これらの写真が、現場で活動を行う応援部隊や、航空偵察活動を行うヘリ部隊から、情報共有がなされたという想定のもと、賀茂管内「全体」の被災状況を把握した上で、対策方針立案を行います。

また、これら対策立案に必要な情報の共有に当たっては、以前は紙面上の地図に情報を落とし込んでいたものを活用していましたが、現在は電子地図上で情報を管理するなど、対策係内における情報共有方法に関しても改善を図っています。

賀茂方面本部員会議 ／ 訓練後の振り返り

賀茂方面本部員会議



訓練後の振り返り



左の写真は、前回の訓練における「賀茂方面本部員会議」の様子となります。方面本部長、副方面本部長、方面本部員、及び防災関係機関が参加し、賀茂方面本部としての対応方針を決定します。

右の写真は、前回の訓練における訓練終了後の振り返りの様子です。

訓練は、課題及び検証項目を持って臨み、実施により、どこに課題があるのか、どのようにしたら課題が解決若しくは改善されるのかを把握し、次回の訓練につなげていくことに意味があります。

そのため、訓練終了後の振り返りの中で、自衛隊を始めとする各防災関係機関から意見をいただくとともに、訓練の全参加者に対してアンケートを実施し、いただいた意見を次の訓練に活かしていくという、いわゆる「訓練のPDCAサイクル」を実践しています。

なお、今回の訓練で行う「賀茂方面本部員会議」では、新たに管内市町本部とズームでつなぎ、テレビ会議として情報共有を行うことを予定しています。

これは、前回の訓練において防災関係機関の方からいただいたアドバイスにより行うこととしたものです。

重要施策発表の最後に

「備えていたことしか、役には立たなかった。」

備えていただけでは、十分ではなかった。」

～国土交通省東北地方整備局「災害初動期指揮心得」～

12

最後に、有名なこの一節を紹介します。

「備えていたことしか、役には立たなかった。備えていただけでは、十分ではなかった。」

これは、東日本大震災を経験し、実際に過酷な災害対応任務に追われた国土交通省東北地方整備局職員の実体験に基づき、内部資料として作成された指揮官向けの災害対応危機管理マニュアル「災害初動期指揮心得」の一節です。

災害への「備え」に完成・完璧はありませんが、備えていればこそ、災害に対応できることが何かしら必ずあるはずです。

そして、様々な「備え」の中でも、「防災訓練」は最も重要な「備え」の中の1つであることに間違いはありません。

この言葉を教訓とし、この賀茂地域を守る決意をもって、我々は今回の訓練に臨んでまいります。

報道関係の皆さまも引き続き、賀茂地域の防災対策に御理解・御協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

行事予定表（令和7年9月分）

日	曜日	賀茂地域局	下田財務事務所	賀茂健康福祉センター	賀茂農林事務所	下田土木事務所
1	月	防災講座（浜崎小学校） 9:15-11:50 浜崎小学校		賀茂通信（かもめーる） 第80号発行		屋外広告物パトロール 13:30（下田市）
2	火					屋外広告物パトロール 10:00（南伊豆町）
3	水					
4	木	①防災講座（下田認定こども園） 10:00-11:00 下田認定こども園 ----- ②防災講座（稲取小学校） 13:25-15:05 稲取小学校		下田総合庁舎福産品販売会 11:00-14:30 庁舎1階エントランスホール		屋外広告物パトロール 10:00（西伊豆町）、13:30（松崎町）
5	金			下田総合庁舎福産品販売会 11:00-14:30 庁舎1階エントランスホール		屋外広告物パトロール 10:00（東伊豆町）、13:30（河津町）
6	土					
7	日					
8	月	防災講座（下田市子育て支援センター） 10:30-11:20 下田市子育て支援センター				静岡どぼくらぶ講座 13:20-14:05 南伊豆町立南中小学校
9	火	①防災講座（稲生沢こども園） 10:00-11:30 稲生沢こども園 ----- ②防災講座（下田小学校） 13:00-13:45 下田小学校 ----- ③静岡大学東部サテライト講座オンライン試験会 18:00-19:30 賀茂キャンパス				
10	水	防災講座（ひかり保育園） 10:00-11:30 ひかり保育園				
11	木	社会人講座 13:30-15:30 賀茂キャンパス				
12	金	防災講座（朝日小学校） 13:25-14:10 朝日小学校				ダム教室（南伊豆東小学校） 10:30-11:45 青野大師ダム
13	土					
14	日					
15	月					
16	火					ダム教室（南上小学校） 10:10-11:15 青野大師ダム
17	水	防災講座（稲生沢小学校） 10:30-12:05 稲生沢小学校				ダム教室（南中小学校） 10:00-11:30 青野大師ダム
18	木	防災講座（熱川小学校） 9:20-11:10 熱川小学校				
19	金	防災講座（稲梓小学校） 10:15-11:00 稲梓小学校		メッセージ事業 13:15-14:10 大賀茂小学校		
20	土					
21	日					
22	月	防災講座（河津小学校） 13:40-15:15 河津小学校				
23	火					
24	水	防災講座（南伊豆東小学校） 9:05-11:40 南伊豆東小学校				
25	木	①定例記者懇談会 9:30- 賀茂キャンパス ----- ②防災講座（下田中学校） 13:25-15:15 下田中学校				
26	金	①防災講座（南中小学校） 9:20-15:00 南中小学校 ----- ②地域おこし協力隊交流会 14:30-17:00 賀茂キャンパス				
27	土					
28	日					
29	月	防災講座（下田高校） 14:50-16:10 下田高校				
30	火	①防災講座（白浜小学校） 9:25-12:10 白浜小学校 ----- ②防災講座（下田小学校） 13:00-14:35 下田小学校				

行事予定表（令和7年9月分）

日	曜日	農林技術研究所 伊豆農業研究センター	水産・海洋技術研究所 伊豆分場	賀茂広域 消費生活センター	賀茂地域 教育振興センター	伊豆観光局
1	月					
2	火					
3	水					
4	木					
5	金					
6	土					
7	日					
8	月					
9	火				賀茂地区幼保小接続推進研修会 14:00-16:30 賀茂教育会館	
10	水					
11	木					
12	金					
13	土					
14	日					
15	月					
16	火					
17	水					
18	木					
19	金					
20	土					
21	日					
22	月					
23	火					
24	水			消費者教育出前講座 17:40-19:00 下田高校(定時制)		
25	木					
26	金					
27	土					
28	日					
29	月					
30	火					

令和7年8月22日

記者懇談会資料

賀茂キャンパスを活用したプログラム

～静岡大学東部サテライト公開講座オンライン視聴会～

(賀茂地域局)

(要旨)

静岡大学が主催する標記講座において9月9日(火)に「宇宙から見た伊豆半島の動きとメカニズム」をテーマに公開講座が行われます。同大学の協力により、下記のとおり当公開講座オンライン視聴会を開催します。

※参加費は無料(今回のみの参加も可能)

(概要)

日 時	令和7年9月9日(火) 18:00～19:30 (途中入退出可能)
会 場	静岡県下田総合庁舎別館2階 賀茂キャンパス ※別館1階玄関からお入りください。
内 容	講師：静岡大学 理学部 地球科学科 准教授 三井 雄太 氏 演題：「宇宙から見た伊豆半島の動きとメカニズム」 ※講演会場(静岡大学東部サテライト)とオンラインで結び、大型スクリーンにより視聴する。(講師との質疑応答可)
対 象	県民など
参加費	無料
申 込	右記QR  電 話：0558-24-2202 メー ル：kamo-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp (氏名、職業、電話番号、参加人数の記入をお願いします。) いずれかの方法でお申込みください。
共 催	静岡大学未来社会デザイン機構東部サテライト 賀茂キャンパス活用推進委員会(静岡県賀茂地域局ほか)

担 当：地域課 菅尾
電話番号：0558-24-2202

宇宙から見た 伊豆半島の動きと メカニズム

参加
無料

古来より人は大地の「形」を知るために地図を作ってきました。
現在では人工衛星により、大地の「形」だけでなく「動き」まで
高精度に捉えられます。伊豆半島周辺では、プレート運動や地震に
加え、スロースリップやマグマの移動など、多様な地殻変動が起こります。
近年の地球物理学の成果をもとに、これらの実態を紹介します。

9月9日 火

午後6時～7時30分

賀茂キャンパス

【下田総合庁舎別館2階】
（下田市中531-1）

申込方法

いずれかの方法でお申し込みください。

電話番号
0558-24-2202

メール
kamo-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp

WEBからの
申し込み



講師

静岡大学理学部地球科学科
准教授

三井 雄太氏

1983年11月生まれ。2011年京都大学大学院理学研究科博士課程修了、2011～2013年日本学術振興会特別研究員PD（北海道大学）、2013年静岡大学理学部助教、2017年静岡大学理学部講師、2021年静岡大学理学部准教授2019年より第4期若手重点研究者、2022年より第5期若手重点研究者。

共催 静岡大学未来社会機構東部サテライト・賀茂キャンパス活用推進委員会（静岡県賀茂地域局ほか）

問い合わせ先 静岡県賀茂地域局 ☎0558-24-2202

令和7年8月22日

定例記者懇談会資料

賀茂キャンパスを活用したプログラム

～「静岡県立大学 社会人講座」第42回講座～

(賀茂地域局)

(要旨)

賀茂キャンパスにおいて、静岡県立大学による社会人講座の第42回講座を令和7年9月11日(木)に開催します。

※参加費は無料(今回のみの参加も可能)

(概要)

日 時	令和7年9月11日(木) 13:30～15:30
会 場	静岡県下田総合庁舎別館2階 賀茂キャンパス ※別館1階玄関からお入りください。 ※駐車場台数に限りがあるため、公共交通機関の利用・車の乗り合わせに御協力願います。
内 容	講師：静岡県立大学 経営情報学部 経営情報イノベーション研究科 ツーリズム研究センター 教授 大久保 あかね 氏 演題：「大学生の地域貢献とは何かー「観光」の視点で産官学連携を考えるー」
対 象	県民など
参加費	無料
申 込	右記QR：  電 話：0558-24-2202 メー ル：kamo-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp (氏名、職業、電話番号、参加人数の記入をお願いします。) いずれかの方法でお申込みください。
共 催	静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科附属ツーリズム研究センター 賀茂キャンパス活用推進委員会(静岡県賀茂地域局ほか)

担 当：地域課 菅尾
電話番号：0558-24-2202

参加型！

社 会 人 講 座

大 学 生 と 一 緒 に

地 域 の 未 来 を 考 え ま せ ん か ？

令和7年

参加
無料

9月11日

木

午後
1時30分
▽
3時30分

賀茂キャンパス【下田総合庁舎別館2階】(下田市中531-1)

講座テーマ

大学生の地域貢献とは何か
-「観光」の視点で産官学連携を考える-

講師

静岡県立大学 経営情報学部 経営情報イノベーション研究科
ツーリズム研究センター 教授 大久保あかね 氏

講座内容

「産学官の連携」と聞くと、堅苦しくなってしまいますが、大学生にとって、自治体や企業の皆様と一緒に課題を解決する経験は、座学での学びを実践に活かすための貴重な機会ともなります。とはいえ、どのようなタイミングで、どの程度の課題を提示したらよいのか、果たして、大学生が本当に課題を解決できるのか・・・などなど、未知数なことばかりだと思います。もちろん、大学生がすべての課題を解決できるわけではありません。今回の社会人講座は、前半の講座でいくつか連携の事例をお示しし、後半は、皆様と一緒に活動するための方法を一緒に考えたいと思います。

申し込み方法

以下、いずれかの方法でお申し込みください。

☐ QR 右記QRより、お申し込みください。

☎ 電話番号 0558-24-2202

✉ メール kamo-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp



問い合わせ先

静岡県賀茂地域局



0558-24-2202

令和7年度 地域おこし協力隊交流会を開催します！

(賀茂地域局)

1 要旨

賀茂地域1市5町では、現在約40名（県全体約130名）の地域おこし協力隊がおり、それぞれが各市町で活動しているが、市町の枠を超えた交流の機会があまりなかったため、令和5年度から交流会を実施している。

3回目となる本年度の交流会は、新たに地域金融機関（三島信用金庫）との協働による「地域密着型起業の基礎知識」をテーマとした講義を実施し、隊員同士のグループトークを通じて、キャリアの方向性や事業展開のヒントを得る機会を提供する。

地域に新たな価値を生み出す担い出として、地域おこし協力隊員の任期終了後の選択肢の一つとして、「起業」を後押しするとともに、隊員間の横のつながりを強化し、情報交換・共同プロジェクトの芽を育むことに繋げる。

2 実施内容

テーマ：「つながりを未来へ ― 協力隊の経験を次のステージに活かす」

日 時	令和7年9月26日（金） 14:30～17:00
場 所	賀茂キャンパス（静岡県下田総合庁舎 別館2階）
対 象	賀茂地域で活動する地域おこし協力隊（OB・OG含む）
内 容	①講演：三島信用金庫 元気創造部 地域未来課 水品 真菜実 氏(60分) 演題「地域密着型起業の基礎知識と、スタートアップ支援の取組」 ②グループトーク（30分）×2回 ③参加者からのお知らせ・感想（10分）
トーク テーマ	・自己紹介（経歴・現在の活動紹介） ・講演後の感想共有 ・地域で暮らし続けるための課題と解決策 ・これから一緒にやってみたいこと ・任期終了後の活動プランと理想の暮らし方 等

担 当：地域課 菅尾
連絡先：0558-24-2202

定例記者懇談会資料

9月の防災講座

(賀茂地域局)

(概要)

賀茂地域局では、地域防災力を強化するため、自主防災組織、教育機関等と連携し、防災講座を開催する。

(開催スケジュール)

	実施日時	実施場所	実施対象	内容等
①	9月1日(月) 9:15～11:50	浜崎小学校 (下田市)	全校児童 約70人	防災カルタ、サバイバルスキルアップ講座、災害時判断ゲーム
②	9月4日(木) 10:00～11:00	下田認定こども園 (下田市)	4、5歳児 約70人	地震体験(車)
③	9月4日(木) 13:25～15:05	稲取小学校 (東伊豆町)	4年生 約30人	講話、地震体験(車)
④	9月8日(月) 10:30～11:20	子育て支援センター (下田市)	利用者 約20人	サバイバルスキルアップ講座、地震体験(車)
⑤	9月9日(火) 10:00～11:30	稲生沢こども園 (下田市)	全園児 約100人	防災ダック、地震体験(車)
⑥	9月9日(火) 13:00～13:45	下田小学校 (下田市)	4年生 約30人	サバイバルスキルアップ講座
⑦	9月10日(水) 10:00～11:30	ひかり保育園 (下田市)	全園児 約50人	防災ダック、地震体験(車)
⑧	9月12日(金) 13:25～14:10	朝日小学校 (下田市)	5年生 約20人	風水害講座
⑨	9月17日(水) 10:30～12:05	稲生沢小学校 (下田市)	5年生 約20人	災害時判断ゲーム
⑩	9月18日(木) 9:20～11:10	熱川小学校 (東伊豆町)	3、4年生 約50人	サバイバルスキルアップ講座、アプリを活用した防災講座

⑪	9月19日(金) 10:15～11:00	稲梓小学校 (下田市)	全校児童、 保護者 約80人	災害時イメージトレーニング(家庭編)
⑫	9月22日(月) 13:40～15:15	河津小学校 (河津町)	4年生 約50人	災害時判断ゲーム
⑬	9月24日(水) 9:05～11:40	南伊豆東小学校 (南伊豆町)	全校児童 約90人	未定
⑭	9月25日(木) 13:25～15:15	下田中学校 (下田市)	2年生 約130人	避難所運営ゲーム (HUG)
⑮	9月26日(金) 9:20～15:00	南中小学校 (南伊豆町)	全校児童 約80人	防災カルタ、サバイバルスキルアップ講座、 アプリを活用した防災講座、災害時イメージ トレーニング(学校編)、地震体験(車)
⑯	9月29日(月) 14:50～16:10	下田高校 (下田市)	1、2年生 約270人	避難所運営ゲーム (HUG)
⑰	9月30日(火) 9:25～12:10	白浜小学校 (下田市)	全校児童 約50人	防災カルタ、サバイバルスキルアップ講座、 災害時判断ゲーム、地震体験(車)
⑱	9月30日(火) 13:00～14:35	下田小学校 (下田市)	4年生 約30人	災害時イメージトレーニング(学校編)

(お願い)

- ・ 防災講座の取材においては、各学校まで取材を行う旨を御連絡ください。
- ・ 講座の内容については、変更になる場合があります。
- ・ 講座の内容に関するお問合せは下記担当までお願いいたします。

担 当：危機管理課 鈴木
連絡先：0558-24-2004

令和7年8月22日

定例記者懇談会資料

「災害時の栄養・備蓄」の大切さについて学ぶ研修会を開催します！

(賀茂健康福祉センター)

(目的)

住民主体の健康づくりを推進するため、地域で活動する健康づくりリーダー（ボランティア団体等の住民組織等）を対象とした研修会を行い、資質の向上を図るとともに各地区組織活動の活性化を促す。

令和7年度は「災害時の栄養」をテーマとし、普段からの備蓄の重要性を実感してもらう。

(概要) 令和7年度賀茂地域健康づくりリーダー研修会

日 時	令和7年8月28日（木）14：00～16：00（受付13：30～）
会 場	静岡県下田総合庁舎別館2階 賀茂キャンパス（下田市中531-1）
対 象	・管内の健康づくりリーダー （地域で健康づくり活動をしているボランティア団体等の住民組織：健康づくり食生活推進協議会、保健委員等） ・地域活動栄養士・在宅保健師・在宅歯科衛生士・市町職員 等
内 容	（1）災害派遣体験談（20分） 賀茂健康福祉センター 保健師 松本克代 （2）講演・グループワーク（90分） 「(仮) 災害時の食事の実態・備蓄の重要性」 食支援・栄養ケア なる 管理栄養士 杉本尚子 氏
主 催	賀茂健康福祉センター 健康増進課

(その他)

取材いただける場合は、前日までに下記担当まで御連絡ください。

担 当：健康増進課

連絡先：0558-24-2037

令和7年8月22日

定例記者懇談会資料

下田総合庁舎での福産品販売会（令和7年度第2回）の開催

（賀茂健康福祉センター）

（目的）

障害のある方の就労や生活の支援をするため、福祉施設等で作った製品（福産品）の販売会を開催します。

（概要）

- 1 日 時 令和7年9月4日（木）、5日（金）11：00～14：30
- 2 会 場 静岡県下田総合庁舎1階エントランスホール（下田市中 531-1）
- 3 出店事業所・主な販売品目

出店する日…○

	事業所名	所在地	主な販売品目	9/4	9/5
1	伊豆つくし学園	下田市	手芸品		○
2	すぎのこ作業所	〃	陶芸、木工、手芸品	○	○
3	ワークあおぞら	〃	木工品、縫製品	○	○
4	東伊豆ワークセンター	東伊豆町	縫製品	○	
5	東伊豆町社会福祉協議会	〃	紙紐籠、SDGs 装飾品	○	○
6	あしたば作業所	南伊豆町	野菜、縫製品	○	○
7	おっけい	〃	コーヒー、コーヒー豆	○	○
8	ワークショップマナ	西伊豆町	パン、クッキー	○	○

【参考】

過去の販売会実績（下田総合庁舎）

	令和6年度 第1回	令和6年度 第2回	令和7年度 第1回
開催日時	R6.9.5（木）、6（金） 11：00～15：00	R7.2.20（木） 11：00～14：30	R7.6.5（木）、6（金） 11：00～14：30
出店事業所数	10	6	9

担 当：福祉課 小松
連絡先：0558-24-2055

令和7年8月22日

定例記者懇談会資料

たばこの害について考え、こどもから大人にメッセージを伝えます！

(賀茂健康福祉センター)

(目的)

賀茂地域の学校における「たばこ対策教育」を充実させ、こどもたちが、たばこの害や受動喫煙防止の必要性について考え、周囲の大人に対しメッセージを送ることで、家族や地域全体でたばこについて考える機会とする。

また、メッセージを受け取った大人が自身の行動を振り返り、大人からこどもへメッセージを返すことで、県民全体で「受動喫煙防止」の意識向上を図る。

(概要) 令和7年度賀茂地域こどもから大人へのメッセージ事業（大賀茂小学校）

日 時	令和7年9月19日（金）13：25～14：10
会 場	下田市立大賀茂小学校 3・4年生教室 (下田市大賀茂1429番地)
対 象	小学3・4年生 12人
内 容	・パペット人形劇の掛け合いによる講義 ・グループワーク「受動喫煙の害から身を守る方法を考える」 ・メッセージ作成 当日「こどもから大人へ」 授業の感想をもとに、身近な大人にメッセージを書く。 後日「大人からこどもへ」 こどもからもらったメッセージに対し返事を書く。
従 事 者	賀茂健康福祉センター健康増進課職員、下田市市民保健課職員、人形劇団

(その他)

- ・取材いただける場合は、前日までに下記担当まで御連絡ください。
- ・駐車場は、正面玄関を抜けたグラウンドの校舎側を使用してください。雨天の場合は、入り口付近に縦列で駐車してください。

担 当：健康増進課

連絡先：0558-24-2037

参考（県内小学校へ配布した案内チラシ）

こどもから大人へのメッセージ事業

静岡県では、小学3、4年生に対して、受動喫煙防止教育を行い、その授業を受けた子どもが家庭や教師などの大人にメッセージを贈る「こどもから大人へのメッセージ事業」を行っています。

①こどもへの健康教育

県健康福祉センターの職員等が小学校において寸劇や紙芝居等を用いて受動喫煙防止教育を行います。

- ・時期：令和6年6月～12月
- ・対象：小学3、4年生
- ・時間：45分程度

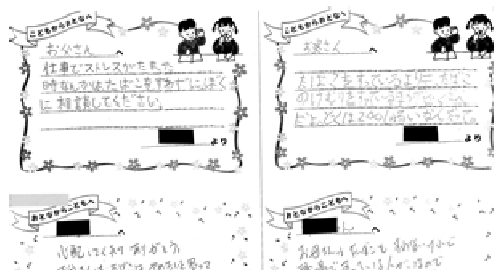
たばこの健康への害や受動喫煙防止の必要性を伝えます。



②こどもから大人へのメッセージ

①の健康教育実施後にこどもが受動喫煙防止に対する考え方について、メッセージカードを作成し、保護者や教師等の大人に贈ります。

こどもからのメッセージを受けた大人は、子どもに対しメッセージ（受動喫煙防止宣言等）を記入し、こどもを通じて学校に提出します。



こどもから大人へ
お父さんへ
仕事でストレスがたまった時なんかは、
たばこをすわずにぼくに相談してください。

お母さんへ
たばこをすっているよりも、たばこのけむりを
すっているほうがどくなんだよ。
どくは200しゅるいなんだって。

大人からこどもへ

心配してくれてありがとう。
お父さんも健康のためにたばこをやめたいと
思っていたから、これで終わりにするね。
ずっと元気な体で楽しく過ごしたいと思うよ。

お母さんはたばこをすわないけれど
職場ですっている人がいるので職場が禁煙に
なればいいのと思うよ。〇〇がおなか
にいるときにはたばこをすう人のそばには
行かないようにしたよ。

③大人による受動喫煙防止宣言

こどもからメッセージを受けた大人が、学年部会やPTA総会等で受動喫煙防止宣言をします。

本事業の実施を希望される場合は、令和7年6月13日（金）までに小学校の所在市町を管轄する県健康福祉センターにメール又はFAXにて裏面の申込書の提出をお願いします。

静岡県健康福祉部健康増進課

定例記者懇談会資料

令和7年度 第3回フィールドワークを通した理科探究活動

(静岡県立下田高等学校)

1 概 要

静岡県立下田高等学校は、本年度の理科探究活動として、賀茂地域の小中学生を対象に水稻作（水田）のフィールドワークを実施している（計4回）。

フィールドワークは既に2回実施されているが、第3回として伊豆農業研究センターにおいて、水稻作の病害虫対策についての講演および実習を行う。

第3回の講師および実習指導は伊豆農業研究センター研究員が担当し、高校生7名、大学生（下田高等学校卒業生）5名が実習のサポートをする。

2 日 時

令和7年8月26日(火) 10:00～11:45

3 場 所

伊豆農業研究センター（賀茂郡東伊豆町稲取 3012）

4 内 容

ア) 講演「イネの病気や虫の被害をふせぐ方法について」

講師：片井祐介（伊豆農業研究センター上席研究員）

イ) 実習「薬の量りかたを学ぼう（仮）」

5 受講者

賀茂地域の小学生および中学1年生、計11名とその保護者

静岡県立下田高等学校

校長 山崎 文則

担当 理科 荻野 真宏

T E L 0 5 5 8 - 2 2 - 3 1 6 4

F A X 0 5 5 8 - 2 3 - 0 4 5 3

mail masahiro02.ogino@edu.pref.shizuoka.jp



静岡県屋外広告物適正化旬間におけるパトロールの実施



(下田土木事務所)

1 概要

県では、国土交通省が屋外広告物の適正化を一層推進するために定めた屋外広告物適正化旬間（毎年9月1日～10日）に合わせ、県内一斉のパトロールや啓発活動等を行っている。

下田土木事務所においても、管内各市町と合同で、違反屋外広告物のパトロール、簡易除却活動や安全管理の啓発活動等を実施する。

2 実施日程等

対象市町	実施日・集合時刻	集合場所	実施路線
下田市	9月1日(月) 13:30	下田総合庁舎	国道135号・136号・414号 観光地エリア景観計画区域内（須崎、田牛、蓮台寺）
南伊豆町	9月2日(火) 10:00	南伊豆町役場	国道136号 県道下田石廊松崎線 ほか
西伊豆町	9月4日(木) 10:00	西伊豆町役場 宇久須支所	国道136号 ほか
松崎町	9月4日(木) 13:30	松崎町役場	
東伊豆町	9月5日(金) 10:00	東伊豆町役場	国道135号・414号、 県道下佐ヶ野谷津線 主要地方道下佐ヶ野谷津線 ほか
河津町	9月5日(金) 13:30	河津町役場	

3 実施内容

- ・安全上問題のある屋外広告物や未確認の違反広告物の把握、是正指導
- ・屋外広告物法の規定に基づく簡易除却が可能な屋外広告物の除却作業
- ・法令や安全管理の普及啓発活動（チラシの配布）

4 参加者

下田土木事務所職員（2名）、対象市町職員（各回1名）

5 参考

配布チラシ

担 当：都市計画課 都市計画班
連絡先：0558-24-2110

9月1日～10日は

おくがいこうこくぶつてきせい かじゅんかん

「屋外広告物適正化旬間」です

～屋外広告物のルールを守って安全で美しいまちづくり～

屋外広告物とは…

◆ 屋外に設置する看板や広告です



屋外広告物を表示・設置するには…

- ◆ 許可が必要です（許可が不要な場合もあります）
- ◆ 地域により許可基準が異なります

～ 詳しくは、許可申請窓口（裏面）にお問い合わせください ～

屋外広告物に関する事は
どこに聞けばいいの？

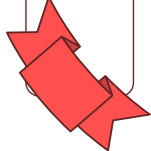
屋外広告物の許可申請窓口 お問い合わせください

静岡県屋外広告物条例が適用される区域

市 町	許可申請窓口	所在地	電 話
東伊豆町 河津町 南伊豆町 松崎町 西伊豆町	下田土木事務所 都市計画課	下田市中531-1	0558-24-2110
函南町 清水町 長泉町 小山町	沼津土木事務所 都市計画課	沼津市高島本町1-3	055-920-2221
吉田町 川根本町	島田土木事務所 都市計画課	島田市道悦5丁目7-1	0547-37-4181
森 町	袋井土木事務所 都市計画課	袋井市山名町2の1	0538-42-3292
伊東市	伊東市 都市計画課	伊東市大原2丁目1-1	0557-32-1781
島田市	島田市 都市政策課	島田市中央町1-1	0547-36-7179
磐田市	磐田市 都市計画課	磐田市国府台3-1	0538-37-4907
焼津市	焼津市 都市計画課	焼津市本町2-16-32	054-626-2160
掛川市	掛川市 都市政策課	掛川市長谷1丁目1-1	0537-21-1151
藤枝市	藤枝市 都市政策課	藤枝市岡出山1丁目11-1	054-643-3373
下田市	下田市 建設課	下田市東本郷1丁目5-18	0558-22-2219
湖西市	湖西市 都市計画課	湖西市吉美3268	053-576-1693
伊豆市	伊豆市 都市計画課	伊豆市八幡500-1	0558-83-5206
御前崎市	御前崎市 都市政策課	御前崎市池新田5585	0537-29-8732
菊川市	菊川市 都市計画課	菊川市堀之内61	0537-35-0932
牧之原市	牧之原市 都市住宅課	牧之原市相良275	0548-53-2633

それぞれの市の屋外広告物条例が適用される区域

市 町	許可申請窓口	所在地	電 話
静岡市	静岡市 景観まちづくり課	静岡市葵区追手町5-1	054-221-1123
浜松市	浜松市 土地政策課	浜松市中区元城町103-2	053-457-2344
沼津市	沼津市 開発指導課	沼津市御幸町16-1	055-934-4762
熱海市	熱海市 まちづくり課	熱海市中央町1-1	0557-86-6383
三島市	三島市 都市計画課	三島市北田町4-47	055-983-2631
富士宮市	富士宮市 都市計画課	富士宮市弓沢町150	0544-22-1408
富士市	富士市 建築土地対策課	富士市永田町1丁目100	0545-55-2796
御殿場市	御殿場市 都市計画課	御殿場市萩原483	0550-82-4240
袋井市	袋井市 都市計画課	袋井市新屋1丁目1-1	0538-44-3122
裾野市	裾野市 都市計画課	裾野市佐野1059	055-995-1829
伊豆の国市	伊豆の国市 都市計画課	伊豆の国市長岡340-1	055-948-2909



安全な看板で お客様に選ばれる会社やお店に！

看板の安全管理には、日常点検による早期発見、定期点検等による早期対応、保守管理のスケジュール化の3ステップが不可欠です。
安全な看板は、会社やお店のイメージをアップし、信用・信頼を担います。

1 日常点検で、セルフチェック！ 早期発見が事故を防ぎます

屋外広告物は、雨や風、強い日差しなどの厳しい自然環境にさらされています。表面はきれいな看板に見えても、内部では気づかぬうちに腐食が進み、落下や倒壊等の事故が生じ、取り返しのつかない事態を招く恐れがあります。
日常的に、目視による「危険サイン」のセルフチェックを行いましょう。

< 日常点検 チェック表 >

セルフチェック項目	危険サイン 有
取付（支持）部分に、サビ、腐食が出ていませんか	☐
主要部材に、変形、サビ、腐食がありませんか。	☐
ブラケットからサビの汚ラシが出ていませんか。	☐
看板が傾いていませんか。	☐
パネル板に、ひびや破損がありませんか。	☐
パネル板が、がたついたり、外れかけたりしていませんか。	☐
表示面の汚染、変色、剥離がありませんか。	☐
照明は正常に点灯していますか。	☐
照明器具が、傾いたり、外れかけたりしていませんか。	☐
部材・部品が欠落していませんか。	☐

※震度5以上の地震や大型台風の後などは、屋外広告業者に臨時点検を依頼しましょう。

2 定期点検などを屋外広告業者に依頼！ 早期対応がリスクを抑えます

「危険サイン」を見つけた場合や定期点検（年1回程度）は、屋外広告業者に目視だけでなく打診等による詳細な点検や補修等を依頼しましょう。

早期に対応すれば、サビを落とし保護材を塗布する等の簡単な処置で済むものも、放っておくと取替えや大規模補修により多額の費用がかかり、事故が発生した場合は賠償責任を問われることもあります。後回しは、大きなリスクとなります。

3 許可更新申請時に、総合点検！ スケジュール化で安全管理のしくみづくり

看板を安全に長持ちさせるためには、保守管理をスケジュール化しておく必要があります。許可更新申請のタイミングで、しっかりと総合的（目視・打診等）な安全点検や補修などを行い、問題点を解決しておくことが、持続可能な安全管理のしくみづくりにつながります。

【問い合わせ】 ○○市△△部□□課 TEL 000-000-0000

静岡県◇◇土木事務所 都市計画課 TEL 000-000-0000

静岡県交通基盤部 景観まちづくり課 TEL 054-221-3702



広告物の落下事故は あなたの会社やお店の 信用も落とします！

万一、看板事故で第三者に被害を与えた場合、積み重ねてきた会社やお店の信用を一瞬で失うことになりかねません。
看板の事故は、多額の賠償金や風評により、事業の継続が脅かされるようなリスクもはらんでいます。

2015年2月、札幌市内の飲食店ビルの外壁に取付けられた看板の一部が落下し、歩道を通行していた女性の頭部に当たり重傷を負わせる事故が発生しました。外壁への取付け部品が腐食したことで強度が低下し、強風の影響で落下したものとみられています。

1997年、台風による強風で渋谷区商店街入口に設置されていた旧アーケード看板(重さ4t)が倒壊、数人が下敷きとなり男性一人が死亡。この事故で商店街組合、役員、理事が計1億円の賠償金を負いました。看板会社が所有者に安全点検を勧めたものの放置されていたそうです。
看板事故が報道されるのは、人身事故を伴う場合などごく一部、氷山の一角に過ぎません。
あなたの看板は、大丈夫ですか？

高まる看板事故のリスク！

近年、ニュースに取り上げられる看板事故が目立つようになりました。
台風の強大化など自然環境の変化に加え、バブル期に設置された大看板が管理されずに放置されるケースもあり、看板事故のリスクは、年々、加速度的に高まっています。

< 近年の主な看板事故年表 >

時期	内容	容
2013.03	JR赤羽駅前のバス停留所で、横1.5m、縦0.8mの看板が強風の影響で飛ばされ、通行中の30歳の男性を直撃。右手首骨折の他、顔にもケガを負った。	
2013.05	新宿駅西口近くの10階建てビルで、屋上に設置された看板のステンレス製枠の一部が落下。約35m下の歩道を歩いていた女性に当たり軽傷。	
2014.03	西武新宿線の鷲ノ宮駅の上りホームで、高さ約4mの天井から2本の支柱でつり下げていた、重さ約22kgの金属製案内看板が落下。けが人なし。	
2014.05	神戸市中央区のJR神戸線元町駅そばの高架下で、駅名の表示板が落ちかけているのを通行人が見つけた。けが人なし。	
2014.07	沖縄県地方を襲撃した台風8号(ノグリ)の強風でアイスクリーム店の看板が倒壊。	
2015.02	札幌市の飲食店で強風により袖看板の付属部材が落下、通行人の女性を直撃し意識不明の重体となった。原因は老朽化によるものだが、看板本体の安全点検は30年間、目視による確認しか行っていないかった。	
2022.06	伊東市の土産物店で強風により発泡スチロール製のモニUMENTが落下し、通行人に当たり、緊急搬送された。経年劣化により強風に耐えられず落下したのと思われる。	
2024.03	沼津市内のビルに設置してある袖看板の一部が強風により落下した。けが人なし。	

県内でも落下事故が発生しています！

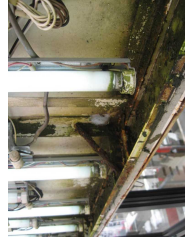
身近に潜む、危険!!な看板

◆袖看板（壁面突出し看板）

ブラケットからの汚ダレ、板面の破損、看板内部の腐食、板面の破損など。高所に設置されている場合は、板面の一部や部品が落下しただけでも、重大な事故につながる恐れがあります。



↑ 看板面(アクリル板)のひび割れ、ゆがみ板面の落下により、内部に水が入り腐食する原因に。



↑ 内照式看板内部の腐食、部材の腐食器具の劣化による出火の恐れも。



↑ 看板底部の脱落

← 取付金具のサビや腐食。ボルトやビス等が欠落していたら緊急の対応が必要。放置すると看板が落下する恐れも。

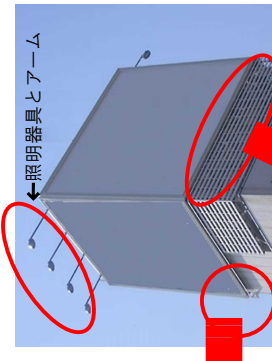


← プラケット下に汚ダレが見られると、内部の取付金具にサビや腐食の可能性がある。

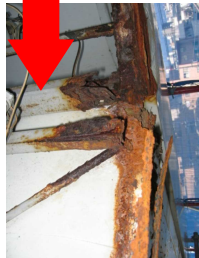
◆屋上看板

老朽化した屋上広告塔の骨組みや目隠しルーバーがサビによる腐食でボロボロに。高所での大改修や撤去作業は、費用も高額になります。

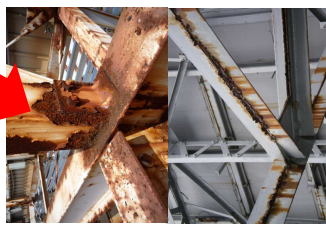
外照式の屋上看板では照明器具のアーム接合部の腐食やボルトのゆるみがあると器具が落下する恐れがあります。



← 照明器具とアーム



↑ 板面裏側のサビ、腐食。サビによる腐食はミルフィーユ状に剥がれ崩落する恐れも。



↑ 内部鉄骨のサビ・腐食。

↓ 屋上広告塔の内部構造

危険サインを示す看板は、あなたの身近にも!?

◆壁面看板

表示パネルの四方を押さえ枠で固定する欄間看板。複数枚のパネルを使用する場合は、隣り合うパネル同士をきちんと固定しないと、振動や風などで落下する恐れがあります。



← パネルの変形、ズレ、破損の他、パネルの押さえ枠が変形し落下する場合も。

落下したパネル板→



◆野立看板（建植看板、ポール看板等）

地上に建てられたものの総称。柱の形状によりポール看板等とも呼びます。柱の根元、看板と柱の接合部にサビが出ていないか確認。看板から柱への汚ダレにも注意しましょう。柱の根元に水が溜まっていると根腐れによる倒壊の危険があります。

交通の激しい沿道で看板の柱が折れたが、隣地の看板が支えとなり、道路への倒壊を免れた事故。電線を切断すると停電による損害賠償額は膨大な金額になることも。



↑ 折れた柱の根元。点検口のボルト穴からサビが入り腐食して、鉄骨が破断した。



↑ 看板の根元がカバーで覆われている場合、表面はきれいで内部でサビが進行している恐れも。



↑ 看板本体からポールへの汚ダレがあると、接合部にサビや腐食が進行する恐れ。



↑ 柱根元のサビを放置し、倒壊。

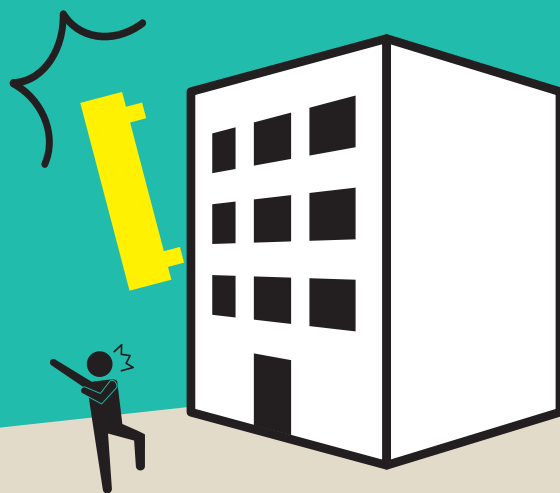
倒壊・落下の危険を見つけたら!

- ◆ 付近を立入禁止にし、見張りを置く。
- ◆ 信頼できる屋外広告業者に連絡。
- ◆ 人通りの多い場所では警察にも連絡。

大丈夫ですか？
つけたままになっている
その看板

落下してからでは
もう遅いのです。

ちゃんと点検していますか？



! こんな看板は要注意です。安全管理は設置者・管理者の責務です。



ブラケットの腐食



側板底面の腐食、破損



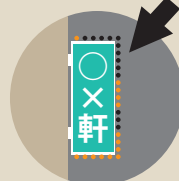
看板の傾き



支柱の腐食



パネル板の破損



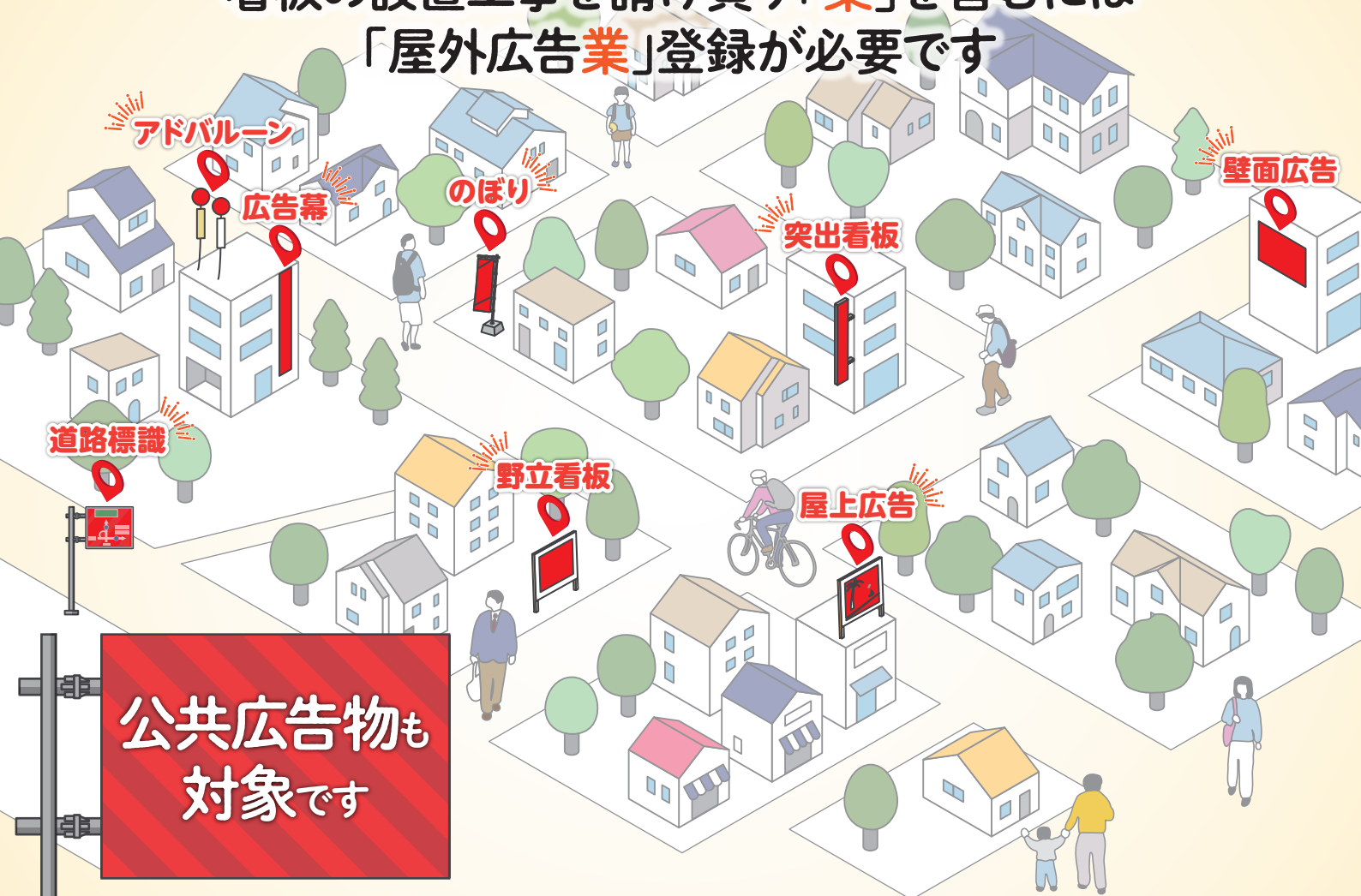
照明器具の不点灯



看板設置工事に携わる全ての事業者様

「屋外広告業登録」 していますか？

看板の設置工事を請け負う「業」を営むには
「屋外広告業」登録が必要です



登録を受けないで屋外広告業を営むなどの違反行為を行うと、罰則が科せられる場合があります。

■屋外広告業登録申請先

各土木事務所へご連絡ください。

■屋外広告業登録についての相談はコチラ >>>

公益社団法人 静岡県屋外広告協会

(〒420-0032 静岡県静岡市葵区両替町一丁目6-8 第一松永ビル4F)

屋外広告業登録について
詳細はコチラ▶



☎ 054-252-5222





小学生に土木の仕事を紹介！



(下田土木事務所)

1 要旨

南伊豆町立南中小学校の児童を対象に、土木の仕事を紹介する出前講座を開催します。
賀茂地域での今年度第1回目の「静岡どぼくらぶ講座」となります。

2 概要

日 時	令和7年9月8日（月） 13：20～14：05
会 場	南伊豆町立南中小学校（賀茂郡南伊豆町上賀茂 80）
対 象	6年生 15名
内 容	土木の仕事内容や、学校の近くで進む河川工事の概要、若手土木職員の日などを、写真を交えて紹介します。

3 その他

取材いただける場合は、事前（9月4日迄を目安）に担当まで連絡をお願いします。

（参考）静岡どぼくらぶ講座 （静岡県交通基盤部建設業課）

小学校、中学校、高校及び大学からの申し込みに応じて、県発注建設現場等の現場見学会や、県職員や県内建設企業の技術者等を講師とした出前講座を、平成30年度から開催しています。

担当：企画検査課 富田
電話：0558-24-2113

定例記者懇談会資料


 あおの だいし
 「青野大師ダム教室」の開催について


(下田土木事務所)

下田土木事務所では、管理する青野大師ダムにおいて、地元の小学生を招き、水の大切さ、ダムの仕組みや役割について学習する「青野大師ダム教室」を開催します。

1 日 時

実施日	時 間	学校名	学 年	児童数
9月12日(金)	10:30-11:45	南伊豆町立 南伊豆東小学校	4年生	18名
9月16日(火)	10:10-11:15	南伊豆町立 南上小学校	2年生	10名
9月17日(水)	10:00-11:30	南伊豆町立 南中小学校	4年生	14名

(人数は暫定)

2 場 所 青野大師ダム (南伊豆町青野)

- 3 内 容 ①ダム管理所での説明 (ダムの仕組みや役割について)
 ②ダム設備の見学 (取水ゲート操作室など、一般に出入り出来ない施設内部の見学)

- 4 その他 ・取材に来られる方は、事前に連絡していただき、当日はダム管理所までお越しください。(付近に駐車スペースがあります。)
 ・南伊豆町に、大雨等の注意報以上が発表された場合は、中止し、連絡いたします。

(参考)

青野大師ダムは、南伊豆町を流れる二級河川青野川の支川である鈴野川に、洪水調節、流水の正常な機能維持、水道用水の確保を目的に建設された多目的ダムであり、平成18年8月から本格運用しています。

担 当 : 工事第1課 鈴木
 連絡先 : 0558-24-2114

【過去のダム教室の様子】



ダム管理所での説明



ダム施設見学



ダム堤体内見学



ダム施設見学

あおの だいし

青野大師ダム

河川総合開発事業



静岡県下田土木事務所

〒415-0016 下田市中531番地の1 静岡県下田総合庁舎5階
TEL 0558-24-2113 FAX 0558-24-2123

Shizuoka Prefecture Shimoda Public Works Office
City Planning Policy Division

531-1 NAKA, SHIMODA-CITY, SHIZUOKA-PREF, 415-0016 JAPAN.



New Public Engineering for SHIZUOKA

いっしょに、未来の地域づくり。

事業の概要

青野大師ダムは、南伊豆町を流れる二級河川青野川の支川である鈴野川に生活貯水池として建設された多目的ダムです。

平成3年度から河川総合開発事業として国の補助を受け、工事用道路、付替林道の工事完了を経て、平成14年度に本体工に着手し、平成15年9月から本体コンクリートの打設を開始し、平成16年11月に打設完了しました。

ダム管理所の建設、試験湛水、周辺環境整備工事も進め、平成18年8月にダム建設工事が完了となりました。

青野大師ダムの目的



S51.7.11 青野川大洪水

- 洪水調節

ダム地点の計画高水流量 $25\text{m}^3/\text{s}$ のうち $20\text{m}^3/\text{s}$ の洪水調節を行い、青野川上流域の水害を防除する。

- 流水の正常な機能の維持

ダム地点下流の青野川上流域の既得用水の補給を行うため、また河川環境（動植物の保護等）の維持のため、いつも川に一定の水が流れるようにする。

- 水道用水

南伊豆町に対し、岩殿地点において、 $2,000\text{m}^3/\text{日}$ の水道用水を供給する。

青野大師とは？

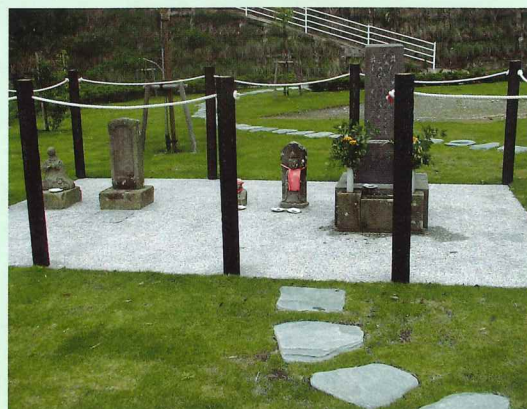
南伊豆町青野地区に弘法大師をお祀りし、周辺地域の人々から信仰を集めていた「青野のお大師さん」の石碑や祭壇は、ダムの建設に伴い、移転しました。

この「青野大師」より、ダムの名前をいただきました。

また、湖の名前は一般公募により「青野大師湖」となりました。



展望エリアより石碑、ダム湖を望む



青野大師石碑

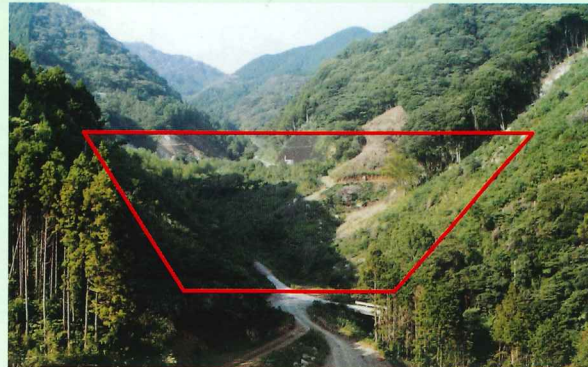
ダムができるまで

多くの人の手によって、青野大師ダムの建設が進められました。

上流から下流を望む



下流から上流を望む



H13.10 本体工事着手前



H16.7 本体コンクリート打設中



H17.9 試験湛水前

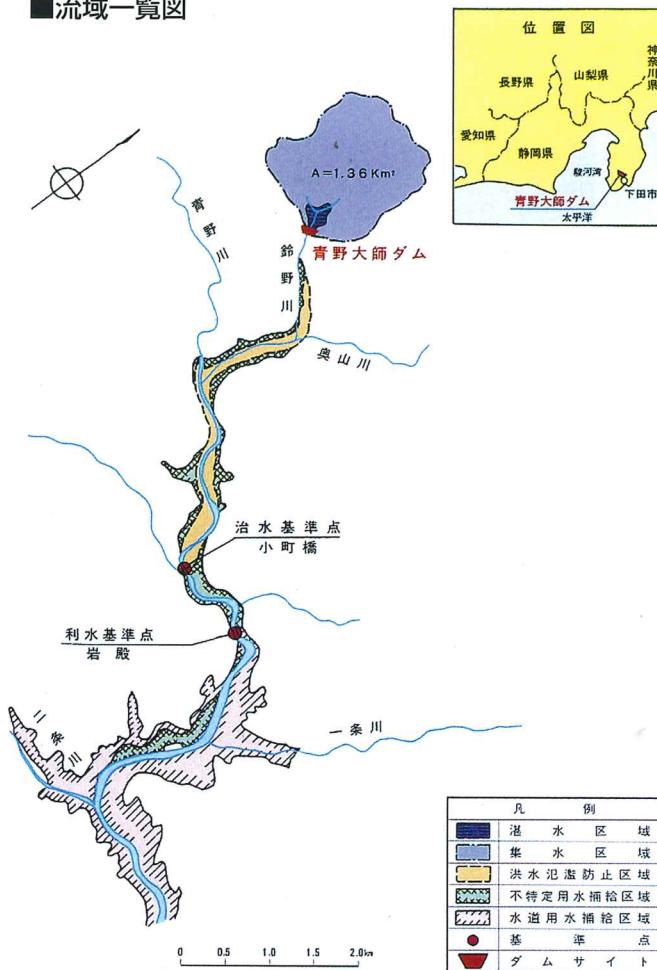


H18.7 建設工事完了

ダムの概要

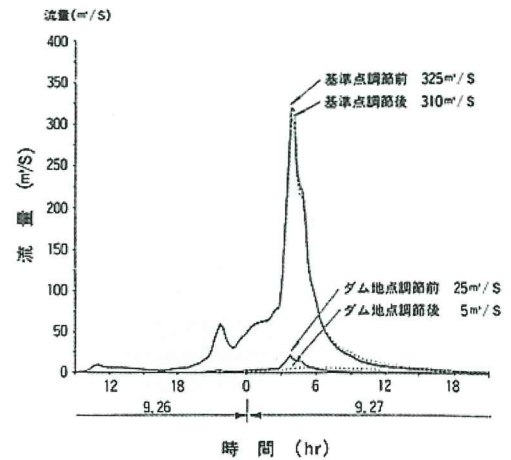
流域一覧図

■流域一覧図



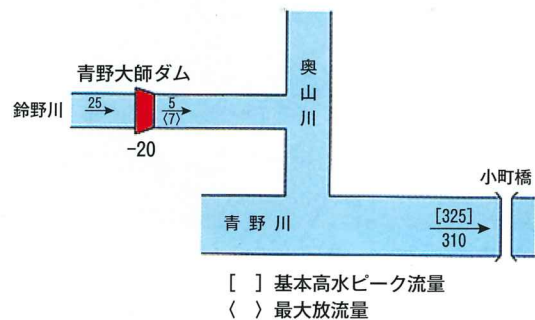
洪水調節図

■洪水調節図



流量配分図

■計画高水流量配分図



ダム諸元

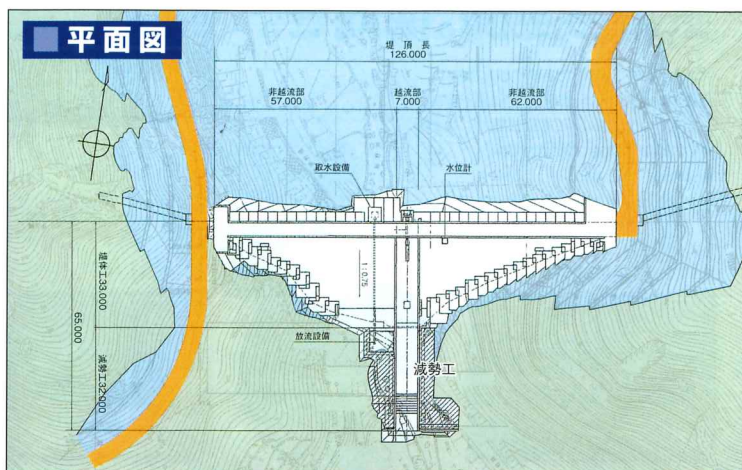
ダムの諸元	位置	二級河川鈴野川（青野川水系） 賀茂郡南伊豆町青野地先	放流設備	常用洪水吐き	オリフィスによる自然調節 幅0.95m×高0.90m×1門
	型式	重力式コンクリートダム		非常用洪水吐き	クレスト自由越流 幅7.00m×高2.40m×1門
	堤高	39.5m		利水放流設備	主：ジェットフローゲート φ200mm、φ100mm各1門 副：スルースパブルφ200mm、φ100mm各1門 放流管φ600mm×1条
	堤頂長	126.0m			
	堤体積	42,500m³			
	非越流部標高	EL. 173.5m			
貯水池	集水面積	1.36km²	設備管理	計画高水流量	25m³/s
	湛水面積	0.025km²		ダム設計洪水流量	60m³/s
	総貯水容量	295,000m³		低水放流設備	φ600mm×1条
	有効貯水容量	240,000m³	補償	通信・制御	1式
	最低水位	EL. 154.5m		管理所	1式
	常時満水位	EL. 163.0m		道路付替	林道1,971m
	サーチャージ水位	EL. 170.0m		用地補償	8.7ha
	設計洪水位	EL. 172.4m	事業期間		平成3年度～平成18年度
	地 質	石英安山岩	事業費		78.6億円

事業経緯

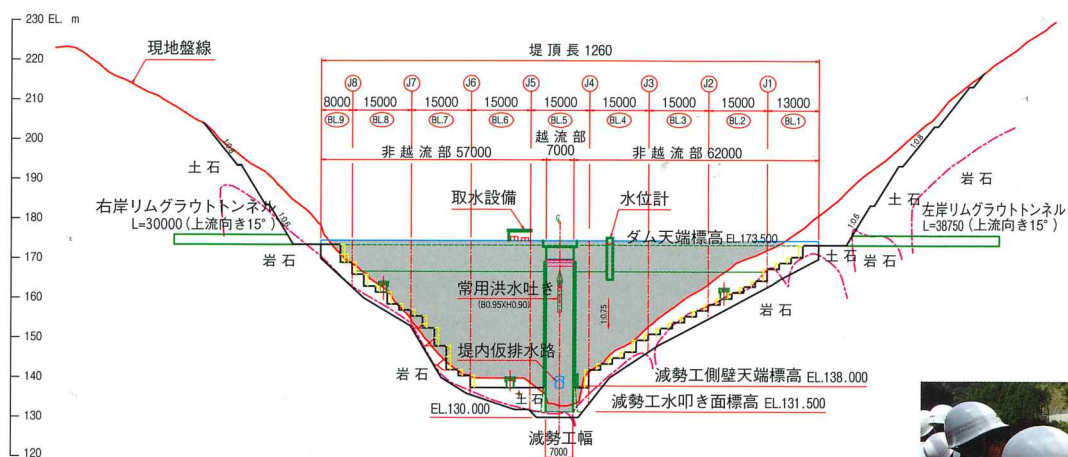
平成3年4月 建設事業採択
平成6年3月 水道事業者 (南伊豆町) との基本協定締結
平成8年2月 補償基準妥結
平成14年10月 ダム本体工着手

平成17年3月 ダム本体工完成
平成17年10月 試験湛水開始
平成18年4月 試験湛水終了
平成18年8月 竣工

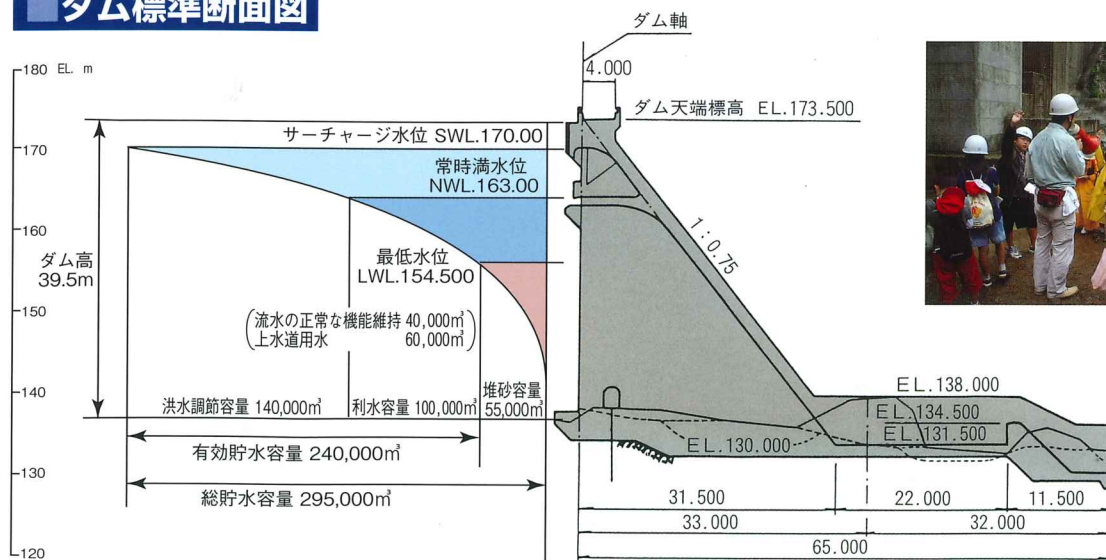
ダムの概要



■ 下流面図



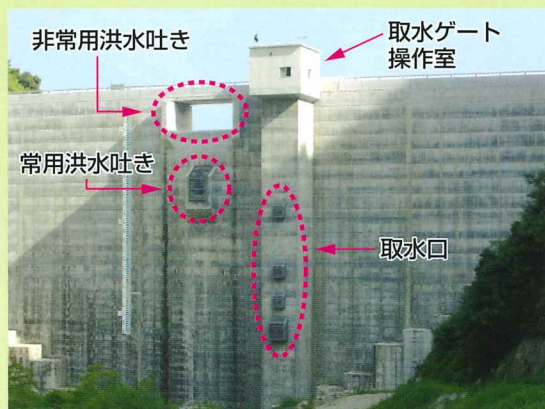
■ ダム標準断面図



ダムの諸設備

青野大師ダムの洪水吐きはゲートの無い構造（ゲートレスダム）で、洪水は自然放流されます。

利水基準点（岩殿）において、水道用水等で必要な河川の水量を確保するための放流は、貯水池から適切な水を選択して取水し、バルブ操作で下流への放流量を調節します。



取水ゲート操作室



利水放流バルブ室



ダム監査廊内部



出水時や大規模地震時には、ダム管理所に配備し、ダム堤体や貯水池等を監視します。多重無線により、下田土木事務所でも諸データの確認ができます。



ダム周辺環境整備

交流エリア MEETING AREA

ダム堤体を下流から間近に望むことができる場所です。一般利用できる屋外トイレがあります。駐車場はマイクロバス2台分、自家用車2台分があります。

展望エリア VIEW AREA

ダムの名前の由来となった「青野大師」の石碑が移設されており、湖全体を望むことができる場所です。駐車場は自家用車5台分あります。



休憩エリア REST AREA

ダム管理所の横に、一般利用できる屋外トイレがあります。

湖畔エリア LAKEFRONT AREA

最も広い植栽エリアです。駐車場は自家用車10台分あります。



風と遊ぶ 海に染まる。

気持ち全開。南向き。

おおらかで、のびのびとした南伊豆の大自然。
 緑をたたえる山があり、紺碧を極める海がある。
 ふるさとのように懐かしい、そんな暖かさに包まれて
 身も心も新鮮な感動で満たされてゆく。
 季節の扉を開くたびに、
 いい出会いにめぐりあえる——それが南伊豆。



みなみの桜と菜の花祭り



長者ヶ原山ツツジ



弓ヶ浜海水浴場



下賀茂温泉



石廊崎灯台

ダムカード配布場所

- 道の駅「下賀茂温泉 湯の花」(南伊豆町観光協会)
 住所：静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂 157-1
 配布日時：9：00～17：00 (土・日・祝日を含む)
- 下田土木事務所
 住所：静岡県下田市中 531-1 (下田総合庁舎 5 階)
 配布日時：8：30～17：15 (土・日・祝日は除く)

ホームページ URL <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-81044no.html>



ダム管理所前に
 設置してある
 スタンプを押すか、
 撮影したダムの
 写真を提示してね！

イメージキャラクター
 青野大師ダムゾー

定例記者懇談会資料

消費者教育出前講座の実施

(賀茂広域消費生活センター)

(概要)

令和4年4月から成年年齢が引き下げられたことに伴い、18歳になると親の同意がなくても契約ができるようになる一方で、未成年者取消権が適用されなくなるため、悪質事業者に狙われやすくなり、様々な消費者トラブルに巻き込まれることが懸念されます。

つきましては、高校生で成人となる生徒の消費者被害を防止するため、以下のとおり県から講師を派遣して出前講座を実施します。

(出前講座の予定)

日 時	場 所	対 象
令和7年5月27日(火) 13:10～13:30	県立下田高校	保護者
令和7年6月16日(月) 15:20～16:10	県立下田高校(全日制)	2年生
令和7年9月24日(水) 17:40～19:00	県立下田高校(定時制)	1～4年生
令和8年2月26日(木) 10:45～11:45	県立伊豆の国特別支援学校 伊豆松崎分校	2年生
令和8年3月16日(月) 8:45～9:35	県立松崎高校	1～2年生

(内容)

- 成年を迎えるにあたって必要な消費生活の基礎知識
 - ・ 契約やお金の基礎知識
 - ・ 若者が狙われやすい商法
 - ・ ネットショッピングの注意点
 - ・ 暮らしとお金
 - ・ 消費生活センターの紹介 など
- 講話のあと、グループワークを予定しています。

担 当：賀茂広域消費生活センター 松久

連絡先：0558-24-2106

定例記者懇談会資料

賀茂地区幼保小接続推進研修会

(賀茂地域教育振興センター)

(目的)

幼児教育施設と小学校の教職員が互いの教育・保育を理解し、学びのつながりを意識しながら子供の成長を支えることで、架け橋期の教育・保育の質の向上を図る。

(概要)

- 1 日 時 令和7年9月9日(火) 14:00～16:30
- 2 場 所 賀茂教育会館2階大会議室(下田市東本郷2丁目12-4)
- 3 内 容
 - (1) 挨拶
 - (2) 講 義
「幼児期の遊びを通した学びと小学校教育の学びのつながり」
講師 賀茂地域幼児教育アドバイザー 土屋 幸子
 - (3) グループ演習
「幼児期の遊びを通した学びと小学校教育の学びのつながりに
ついて見取り語り合う」
 - (4) 指導講評
- 4 参加者 賀茂地区の小学校教職員等
賀茂地区の幼稚園、保育所、認定こども園の教職員等
賀茂地区の教育委員会の指導主事等
合計40名程度
- 5 その他 取材していただける場合は、14:50～16:10の
グループ演習があります。

担 当 : 賀茂地域教育振興センター
連絡先 : 0558-24-2044